

EA159HC(エアダイグラインダー) 取扱い説明書

Ver1.1

このたびは当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。製品を安全にご使用頂くためにも、取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い申し上げます。

- 仕様
 - ・全長…280mm
 - ・エア消費量(最大)…300L/min
(間欠性使用平均消費量:99L/min)
 - ・使用圧力…0.6MPa
 - ・吸入口…Rc(PT)1/4”(プラグ付)
 - ・騒音値…78db(A) ISO15744
 - ・重量…760g
 - ・無負荷回転数…22000r.p.m.
 - ・チャックサイズ…6mm
 - ・使用コンプレッサー…2.2kw
 - ・使用エアホース内径…8mm
 - ・三軸合成値…0.5m/s² ISO22867

● 各部名称



● 使用方法

エアーツールのON/OFFはグリップ部のスイッチによって行います。
スイッチのバーを押さえ、スイッチレバーを握りこみます。
スイッチを握り込んでいる間は、ツールが作動します。
停止はスイッチを離してから数秒かかります。
安全の為にツールが完全に停止した後で収納場所に置いて下さい。

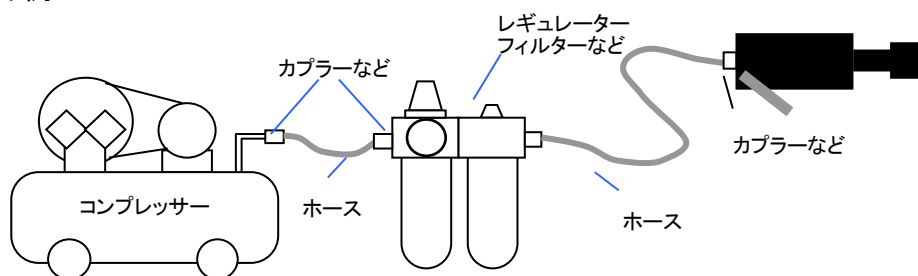
● コレットチャックの交換及び軸付砥石の交換

交換する前に必ず装着する軸付砥石、コレットがしっかりと締まっていることを確認して下さい。
付属のスパナ、2丁を使用してコレットを回します。
安全の為に締める時のチェックは必ず習慣化して下さい。

・先端工具は22000r.p.mに耐える物を選んで下さい。



● 取付け例



● 安全について

ご使用中、かなりの粉塵等が発生しますので、できる限りの安全防護(安全メガネ、防塵マスクなど)をお勧めします。

◆ 騒音について

- ・ご使用中、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等で定める騒音規制値以下で使用して下さい。
必要に応じて、防音壁等で遮音処置を取って下さい。

● メンテナンス

工具を接続する前に(ISO VG 10)くらいのスピンドルオイルを接続口から4～5滴垂らして下さい。
粘度の高いオイルを注しますと、機能が十分発揮されなくなりますので、もし、誤って粘度の高い
オイルを注した時は、洗い流して適正オイルを注して下さい。
3～4時間の作業毎にオイルを注すと、工具が長持ちします。

● 保管

- ・使用後は水分や汚れを拭き取り、乾燥させてオイルを注して下さい。
- ・使用しない時は、エア—ホースから工具を外して下さい。
- ・保管に際しては、湿気のある所は避けて下さい。湿気があると工具内部にサビが発生します。

安全上の注意

事故、けがを未然に防ぐため、ご使用前に必ずお読み頂き、ご理解の上、注意事項を厳守してください。

- ・適正な圧力と適正な使用スピードが最良の作業効率をもたらします。
コンプレッサーの適性ゲージ圧力は0.6MPaです。
- ・エア—ツールとコンプレッサーの間のホースは内径8mmをご使用ください。
エア—ツールとコンプレッサーの間にはフィルターとオイラーを設置してください。
- ・使用前にホースをコンプレッサーの圧縮空気ですばり掃除しますと、湿気とホコリが除去できます。
ホースを延長して使用するほど(8m以上)、ラインの圧力も相応してあげなければなりません。
- ・作業時は必ず保護メガネ、イヤーマフ、防塵マスク、手袋を着用してください。
- ・作業現場は必ず換気をよくしてください。
- ・動力源が故障した場合はエア—ツールをはずしてください。
- ・絶縁されてない為、電源に接触しないように注意して作業してください。
- ・火災・爆発要因ある環境下では、エア—ツールは使用しないでください。
- ・また圧力のかかったホースには注意してください。
- ・作業対象物は必ず適正な工具に固定してください。
- ・過度のエア—圧力をツールにかけたり、速いスピードでの空回しは工具の損傷の原因になります。
- ・作業場の照明は充分明るくしてください。
- ・作業場には子供を近づけないでください。
- ・無理な使い方はしないでください。作業にあったエア—工具を使用してください。
工具の能力と作業に あった速度、トルクを選んでください。
- ・作業時は作業に適した服装をしてください。
だぶついた作業服、ネクタイ、ネックレスなどの装身具類は、回転部に巻き込まれます。
長い髪も危険ですので帽子をかぶるようにしてください。
手袋を使用するときは、巻き込まれないような品で、すべらない手袋を着用してください。
- ・加工物をしっかりと固定し、両手で工具を使用してください。手で加工物を保持すると危険です。
- ・作業工具は注意深く手入れをしてください。
エア—ホース、接続部、スイッチなどは損傷していないか、その他定期的に点検してください。
握り部、スイッチは常に乾かし、きれいな状態を保ってください。
- ・次の場合はスイッチを切りエア—ホースを外してください。
 - ① 工具の取り付け、交換 ② 作業終了時 ③ 異常を感じたとき
- ・エア—工具を運ぶときは、エア—ホースを外してください。不用意にスイッチが入ることがあり、危険です。
- ・エア—工具を使用するときは、取り扱い方法、作業方法、周りの状態を把握して、慎重に作業してください。
- ・作業前には、可動部の位置、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に、異常、損傷がないかを確認してください。
- ・研削作業前1分間、ベルト交換時3分間、安全な位置での試運転を行い、異常な音響・振動のないことを確認してください。
- ・改造はしないでください。本機の寿命を著しく損ねる場合があります。また、ご使用者がケガをする場合、作業行程に支障を来す場合があります。
- ・振動工具の三軸合成値について
仕様欄に数値を記載しています。
日振動ばく露量A(8)は、厚生労働省の下記サイトで求めることができます。
<https://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/dl/090820-2a.pdf>

株式会社 エスコ

本社／〒550-0012 大阪市西区立売堀3丁目8番14号
TEL(06)6532-6226 FAX(06)6541-0929

24.Nov.